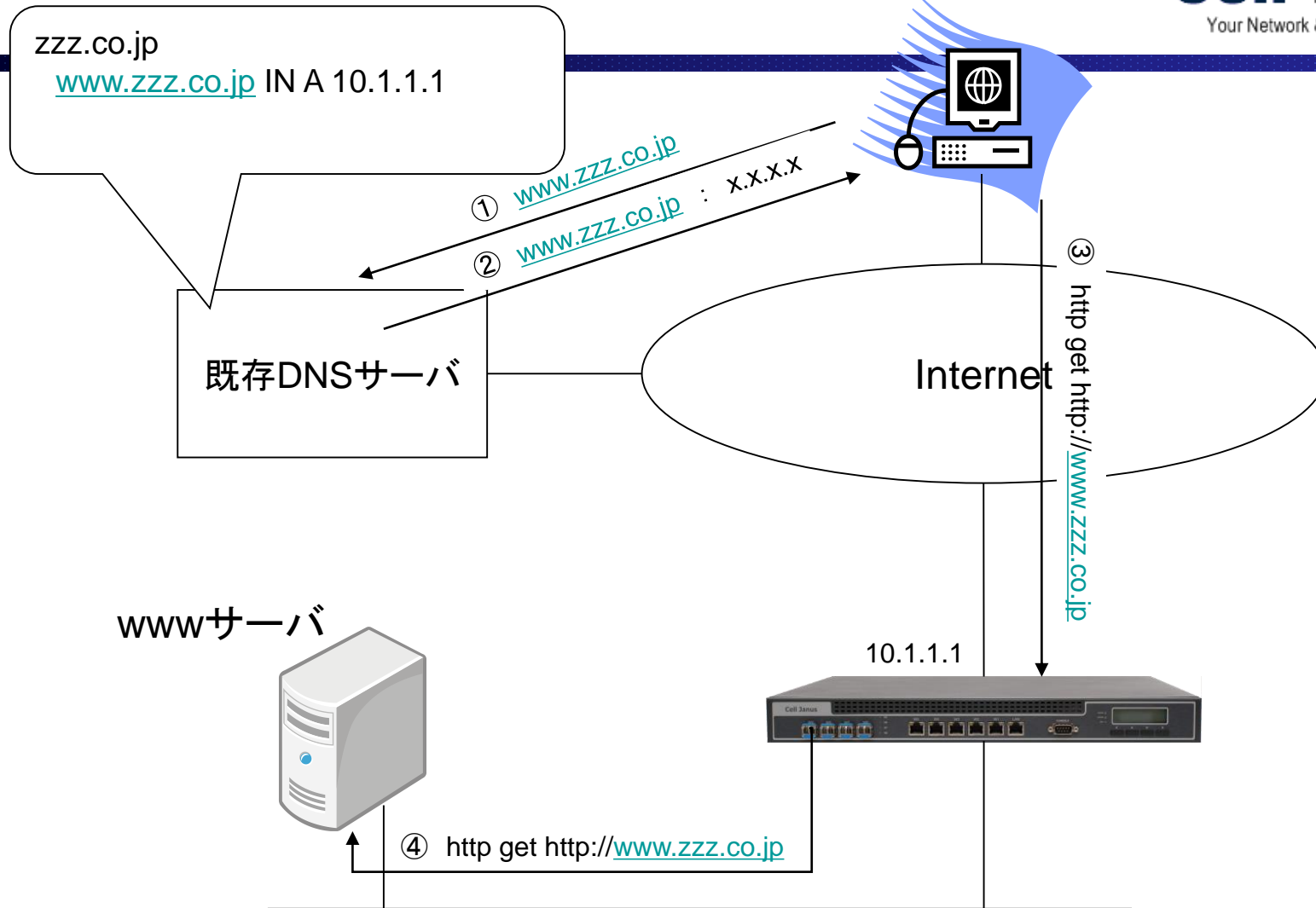


CellTechnorogy Janus Inboundロードバランズについて

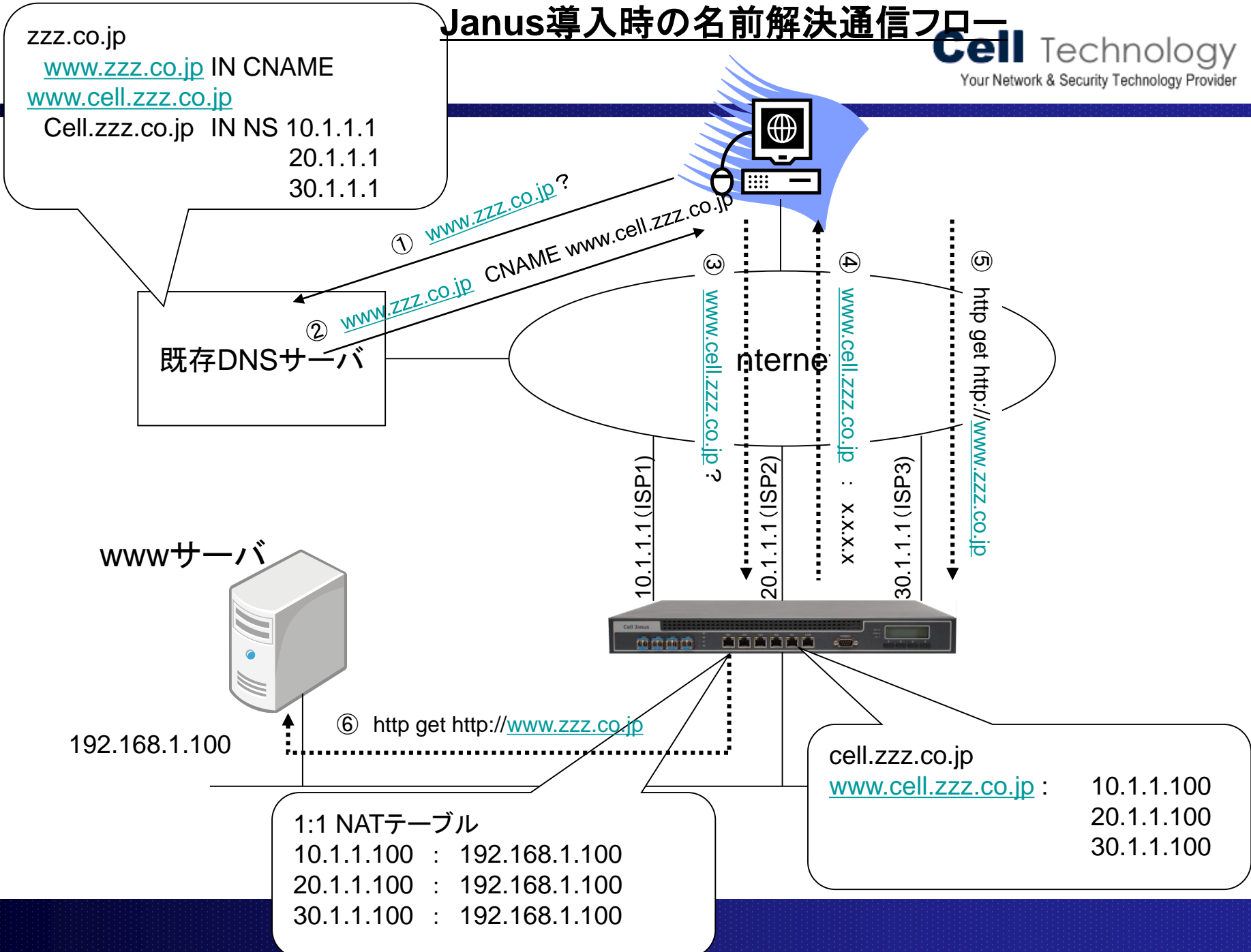
DNS設定 Tec Tip

- CellJanusでInboundロードバランスを行う場合は、CellJanusに実装されているDNS機能を使用します。
- 外部DNSへの名前解決リクエストをCellJanusにDelegation（委譲）する事でCellJanusが適正な公開サーバ用IPアドレスを返答します。

通常の名前解決通信フロー



Janus導入時の名前解決通信フロー



Janus導入時の動作について 通信フローのまとめ

- 既存公開DNSサーバ側でwww.zzz.co.jpというAレコードに対して、CNAME: www.cell.zzz.co.jp (“cell”というサブドメイン付き)を設定して、NSレコードにてJanusのグローバルIPを指定します。(Janusに設定しているIPアドレス)
 - ※ 既存DNSサーバの設定変更が必要です。
- クライアントは、指定されたJanusのIPアドレスにwww.cell.zzz.co.jpのアドレスを解決しに行きますので、Janusに登録された各ISPで割り振られている公開WWWサーバ用のグローバルIPを返答します。
- Janus側で各ISPの公開用WWWサーバグローバルIPと実WWWサーバに設定されているローカルIPアドレスの1:1NATが設定されていますので、外部からのアクセスは、内部にNAT通信されます。